

平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「国語表現」 (大修館書店)						
副教材等	「 国語表現 基礎練習ノート 第3刷 」 (大修館書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて適切に文章を書く、話す、また的確に聞き取ることを体験する。表現方法として、図や画像などを用いることも試みる。文章を書く上で必要な漢字・語彙等を理解し、知識を身につける。

2 学習の到達目標

国語で適切に表現する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって生活を充実させる態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、適切に相手に伝えることができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート、発表、ディベート等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 パフォーマンスの評価 (ノート、ワークシート、ディベート等) 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	整った文を書く	【表現の基礎】 「整った文を書く」 ・わかりやすい文を書く ・文体の使い分け ・文の乱れをなくす ・主題をまとめる ・組み立てを考える ・段落を分けて書く ・原稿用紙の使い方 ・敬語の正しい使い方		○	◎	○	a:与えられた課題に積極的に取り組んでいるか。 a:具体的な場面を想像し、適切な言葉を選ぶことができるか。 b:文章表現の基本を理解しているか。 b:学習した内容は身につけているか。 c・d:語彙力を表現に生かしているか。 c:作成した文章に自分の意見や考えが反映されているか。	a~d 行動の観察 ワークシート 定期考査 小テスト
2 学期	小論文を書く	【表現の実践】 「小論文を書く」 ・小論文とは何か ・課題小論文 ・反論を想定して書く ・資料を読み取って書く ・発想を広げて書く 「プレゼンテーション」 ・自分で計画を立て、発表する	◎	◎	○	◎	a:与えられた課題に積極的に取り組んでいるか。 b:文章表現の基本を理解しているか。 b:学習した内容は身につけているか。 C・d:語彙力を表現に生かしているか。 c:作成した文章に自分の意見や考えが反映されているか。	a~d 行動の観察 ワークシート 定期考査 小テスト
3 学期	スピーチ	【自己の表現】 「自分史」 「ショートスピーチ」 ・自分自身を振り返り、自分の趣味等についてスピーチをする	◎	○	◎	◎	a・c:実感を持って話すことができるか。 b:学習した内容は身につけているか。 a:与えられた課題に積極的に取り組んでいるか。 d:語彙力を表現に生かしているか。	a~d 行動の観察 ワークシート 定期考査 小テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。